

平成24年度

杉田玄白記念公立小浜病院改革プラン実績評価書

平成25年9月

杉田玄白記念公立小浜病院評価委員会

◎ はじめに

病院改革プラン（以下、「改革プラン」という。）は、平成19年12月に総務省において策定された「公立病院改革ガイドライン」に沿って平成21年3月に策定され、その取り組み状況についての点検・評価をおこなう為、評価委員会が設置された。

「杉田玄白記念公立小浜病院評価委員会」は、外部有識者、住民代表等を含む5名の委員で構成され、平成24年度決算の状況を含め、改革プランの実施状況の点検・評価を実施した。

1. 評価区分の基準

「計画・実績」「改革プランにおける数値目標等（実績・目標）」「公立病院として今後果たすべき役割」について評価を行った。

評価は次の表のように4段階とし、それぞれの評価の基準は説明のとおりである。

評価	評価の基準
◎	計画、数値目標を大きく上回った
○	計画、数値目標をほぼ達成した
△	計画、数値目標をやや下回った
×	計画、数値目標を大きく下回った

2.総合評価

昨年度来からの評価結果に対する経過を踏まえ、努力の成果が得られている。

プラン・前年度と比較し、経常収支比率等の経営状況は改善傾向にあることは評価できる。

今後は、常勤医師・看護師の確保に注力し、診療機能の充実、経営改善を図ると共に地域の基幹病院としての役割をしっかりと担っていただきたい。

I.「公立病院として今後果たすべき役割」

①初期治療から高度特殊医療まで総合的に提供できる救急医療の提供

外来患者数、入院患者数共に増加しており、増収に繋がっている。また、救急科専門医の3名体制を継続し、地域の救急医療を担っており評価できる。

②生活習慣病に適切に対応する医療提供

協会けんぽ生活習慣病予防健診、個別がん検診に参加し、健診者数・健診収益共に増加している。今後は専従医師の確保に注力すると共に、PET検診等の啓蒙活動にも取り組んでいただきたい。

③地域災害医療センターとしての医療機能の提供

DMA T活動、および各種の訓練・研修会への参加等の積極的な姿勢は評価できる。又、平成24年度には自家発電の整備工事もおこない災害時の医療機能確保へ対応している。今後も災害拠点病院としての機能を果たしていただきたい。

④へき地医療拠点病院としての機能の提供

患者数は、高齢化ならびに人口減少に伴い、徐々に減少傾向にあるが、無医地区への巡回診療や名田庄診療所への医師の派遣は評価できる。

⑤小児医療・産科医療の確保

地方において、小児科医2名体制で休日の小児医療を確保し、嶺南地域の小児療育医療に取り組むと共に、産科医2名を維持しながら地域医療に貢献していることは高く評価できる。

⑥研修機能の充実

認定看護師・助産師研修への参加等、看護師の研修体制を整備している。又、臨床研修医は平成24年度も引き続きフルマッチであり評価できる。今後は嶺南医療振興財団奨学生の確保・定着にも注力することを期待する。

⑦看護師の養成・確保

さまざまな取組をおこなってはいるが、平成24年度は採用者数と退職者数の差が6名の減となり看護師数は減少している。今後は現在の取組の他、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）や修学資金制度の利用、地元出身者の優先入学等による併設の公立若狭高等看護学院卒業生の確保、定着への取組が望まれる。

⑧地域医療機関との連携の推進

紹介率・逆紹介率に対する取り組み姿勢については一定の評価ができる。しかしながら、当地域の医療施設の配置状

況を考慮すると、これ以上の紹介率・逆紹介率の増加は期待しがたい状況にある。

II. 「経費削減・抑制対策」

①給与費の抑制

給与費の対医業収益比は減少しており評価できる。業務委託は、総合的に判断すると必ずしも費用の軽減に繋がらず、委託に当たっては、業務の専門性等を考慮する必要がある。

②経費の削減

診療材料費については価格交渉等により対医業収益で減少している。今後はSPDによる物品購入がきちんと保険請求に繋がっているかどうか等の物品の購入、在庫、消費管理システムの構築を期待したい。

III. 「収入増加・確保対策」

①急性期病院として平均在院日数の短縮に努め、効率的な病床運営を行い病床利用率を高める。

病床利用率が増加したにも関わらず、平均在院日数の増が抑制されていることは高く評価できる。

②亜急性期病床を8床増床し、入院収益の増収を図る。

亜急性期病床の利用率は90%以上を維持し、入院収益の確保を図っている点は評価できる。病床数については、今後の診療報酬改定の動向を参考に検討されることを望む。

③初診時特定療養費や文書料等の見直しを図る。

初診時特定療養費・一部診断書料金の見直しにより増収を図っている点は評価できる。

④診療報酬制度に的確に対応するため、研修等を実施する。

院外研修等への参加、院内講習会の開催は継続しており評価できる。今後は医師、看護師、技術員等への経営研修の継続をお願いすると共に、開設主体の異なる病院を対象として開催される経営研修会、「日本医療・病院管理学会」、「日本診療情報管理学会」、「日本医療マネジメント学会」、「日本医療経営学会」等への病院幹部職員の参加を望む。

⑤良質な医療の提供と収益性の向上を図るため、急性期入院医療における診断群分類別包括評価（DPC）準備病院に平成20年度申請した。

DPC病院として診療情報管理士の育成に取り組む姿勢は評価できる。

⑥地域医療支援病院の承認が得られることにより、入院収益の増収が見込めることから承認申請に向け検討を開始した。

紹介率・逆紹介率は微増しているが、地域の医療環境を考慮すると地域医療支援病院の現在の施設認定基準を満たすことは困難と考えられる。地域医療支援病院として、既に実質的な医療機能は十分に充たしていると認められるので、今後は地域の状況に見合った国の基準の見直しに期待すると共に、当院からも関係病院団体及び行政への働きかけを継続して行うことが望まれる。

改革プランにおける数値目標等（実績・目標）

（単位：百万円）

収支	平成23年度 決算	平成24年度 プラン (A)	平成24年度 決算 (B)	決算-プラン B-A	平成25年度 プラン
病院事業収益	6,861	6,772	6,965	193	6,767
うち外来収益	1,626	1,588	1,702	114	1,588
うち入院収益	4,150	4,183	4,219	36	4,187
うち医業外収益	626	673	669	▲ 4	668
病院事業費用	7,371	7,231	7,447	216	7,026
うち給与費	3,387	3,270	3,376	106	3,270
うち材料費	1,273	1,431	1,293	▲ 138	1,420
うち経費	723	750	785	35	750
うち減価償却費	737	723	723	0	671
純損益	▲ 510	▲ 459	▲ 482	▲ 23	▲ 259
累積欠損金	3,416	4,581	3,898	▲ 683	4,840
資金収支	227	264	241	▲ 23	412
不良債務	-	-	-	-	-

財務に係る数値目標	平成23年度 決算	平成24年度 プラン (A)	平成24年度 決算 (B)	決算-プラン B-A	平成25年度 プラン	自己評価	委員会評価
経常収支比率	93.1	93.7	93.6	▲ 0.1	96.3	△	△
（減価償却費を除く）	103.4	104.1	103.6	▲ 0.5	106.5	△	△
医業収支比率	92.2	91.9	94.9	3.0	92.8	○	○
職員給与費率	54.3	53.6	53.1	▲ 0.5	53.6	○	○
病床利用率（一般）	81.7	81.0	85.0	4.0	81.0	○	○
病床利用率（療養）	90.3	90.0	94.8	4.8	90.0	○	○
病床利用率（全体）	82.5	82.2	84.3	2.1	82.2	○	○
外来患者数（1日平均）	758.8	810.0	776.9	▲ 33.1	810.0	△	△

平成24年度 杉田玄白記念公立小浜病院改革プラン評価シート

公立病院として今後果たすべき役割

嶺南医療圏・若狭地域の基幹病院として、政策的医療等の提供や病診連携の中心的役割を果たし、地域医療水準の維持、向上に努める。																																		
役割と計画	実 績			進捗の判断	自己評価	委員会評価																												
① 初期治療から高度特殊医療まで総合的に提供できる救急医療の提供	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 20%;">平成22年度</th> <th style="width: 20%;">平成23年度</th> <th style="width: 20%;">平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来延患者数</td> <td>188,452人</td> <td>184,388人</td> <td>189,485人</td> </tr> <tr> <td>外来収益</td> <td>1,654,157千円</td> <td>1,625,840千円</td> <td>1,702,104千円</td> </tr> <tr> <td>入院延患者数</td> <td>127,523人</td> <td>135,951人</td> <td>138,451人</td> </tr> <tr> <td>入院収益</td> <td>3,965,997千円</td> <td>4,149,792千円</td> <td>4,219,196千円</td> </tr> <tr> <td>救急取扱患者数</td> <td>12,500人</td> <td>13,697人</td> <td>13,987人</td> </tr> <tr> <td>救急車搬送件数</td> <td>1,908件</td> <td>2,015件</td> <td>1,927件</td> </tr> </tbody> </table>				平成22年度	平成23年度	平成24年度	外来延患者数	188,452人	184,388人	189,485人	外来収益	1,654,157千円	1,625,840千円	1,702,104千円	入院延患者数	127,523人	135,951人	138,451人	入院収益	3,965,997千円	4,149,792千円	4,219,196千円	救急取扱患者数	12,500人	13,697人	13,987人	救急車搬送件数	1,908件	2,015件	1,927件	<p>① 外来患者数は「かかりつけ医制度」導入後減少傾向にあるが、平成24年度は増加した。入院患者数は、年々増加しており、入院収益は増加した。</p> <p>② 平成22年度は、救急科専門医師が2名であったが、平成23年度以降は3名に増員したことにより救急医療体制がより充実した。</p> <p>③ 救命救急センターを持つ地域の中核病院として、地域の救急医療に貢献している。</p>	○	◎
	平成22年度	平成23年度	平成24年度																															
外来延患者数	188,452人	184,388人	189,485人																															
外来収益	1,654,157千円	1,625,840千円	1,702,104千円																															
入院延患者数	127,523人	135,951人	138,451人																															
入院収益	3,965,997千円	4,149,792千円	4,219,196千円																															
救急取扱患者数	12,500人	13,697人	13,987人																															
救急車搬送件数	1,908件	2,015件	1,927件																															
② 生活習慣病に適切に対応する医療の提供	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 20%;">平成22年度</th> <th style="width: 20%;">平成23年度</th> <th style="width: 20%;">平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健診者数</td> <td>955人</td> <td>950人</td> <td>1,127人</td> </tr> <tr> <td>うち要医療指摘者数</td> <td>604人</td> <td>605人</td> <td>598人</td> </tr> <tr> <td>健診収益</td> <td>49,098,661円</td> <td>49,146,087円</td> <td>51,817,738円</td> </tr> </tbody> </table>				平成22年度	平成23年度	平成24年度	健診者数	955人	950人	1,127人	うち要医療指摘者数	604人	605人	598人	健診収益	49,098,661円	49,146,087円	51,817,738円	<p>① 平成24年度より、協会けんぽ生活習慣病予防健診、市町個別がん検診に参加したことにより、健診者数は増加した。</p> <p>② 専従の医師確保に苦慮している。</p>	○	○												
	平成22年度	平成23年度	平成24年度																															
健診者数	955人	950人	1,127人																															
うち要医療指摘者数	604人	605人	598人																															
健診収益	49,098,661円	49,146,087円	51,817,738円																															

役割と計画	実績	進捗の判断	自己評価	委員会評価																																																
③ 地域災害医療センターとしての医療機能の提供	<p>6月 福井空港SCU資機材整備完了に伴う資機材の運用勉強会 (2名参加)</p> <p>10月 福井県DMAT連絡協議会 (1名参加)</p> <p>11月 福井県総合防災訓練 (坂井市等) (5名参加)</p> <p>2月 市立敦賀病院での防災講演会 (5名参加)</p> <p>3月 中部DMAT実働訓練 (石川県内各地) (5名参加)</p> <p>※各種研修会・講習会 (ICLS、トリアージ、ALS、BLS、その他) へのインストラクターの派遣</p>	<p>平成24年度より福井県DMAT連絡協議会が発足し、県内7医療機関のDMATの責任者、福井県医師会・歯科医師会の代表者、福井県医療行政当局が一堂に会し、それぞれの課題や問題についての共通認識を深めるために、定期的に会合を持つこととなった。隊員の養成の為、県を通じて厚労省に隊員養成研修への優先参加を要望中である。</p>	○	○																																																
④ へき地医療拠点病院としての機能の提供	<table border="1" data-bbox="499 751 1227 868"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>巡回診療日数</td> <td>168日</td> <td>168日</td> <td>168日</td> </tr> <tr> <td>延患者数</td> <td>1,265人</td> <td>1,093人</td> <td>1,057人</td> </tr> </tbody> </table>		平成22年度	平成23年度	平成24年度	巡回診療日数	168日	168日	168日	延患者数	1,265人	1,093人	1,057人	<p>へき地医療拠点病院として、無医地区への巡回診療を担当しているが、地域の過疎化により受診者は減少している。しかし、交通手段の乏しい地区への定期的な診療は、地域医療に大きく貢献している。また、名田庄診療所の要請により医師を派遣した。</p>	○	○																																				
	平成22年度	平成23年度	平成24年度																																																	
巡回診療日数	168日	168日	168日																																																	
延患者数	1,265人	1,093人	1,057人																																																	
⑤ 小児医療・産科医療の確保	<table border="1" data-bbox="499 959 1227 1385"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">小児医療</td> <td>外来延患者数</td> <td>16,128人</td> <td>17,152人</td> <td>17,071人</td> </tr> <tr> <td>入院延患者数</td> <td>1,237人</td> <td>1,650人</td> <td>1,712人</td> </tr> <tr> <td>外来・入院収益</td> <td>130,557千円</td> <td>148,557千円</td> <td>146,195千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">産科医療</td> <td>外来延患者数</td> <td>8,053人</td> <td>7,439人</td> <td>7,261人</td> </tr> <tr> <td>入院延患者数</td> <td>3,280人</td> <td>3,491人</td> <td>3,885人</td> </tr> <tr> <td>外来・入院収益</td> <td>152,302千円</td> <td>161,893千円</td> <td>168,752千円</td> </tr> <tr> <td>正常分娩</td> <td>121件</td> <td>110件</td> <td>100件</td> </tr> <tr> <td>異常分娩</td> <td>56件</td> <td>77件</td> <td>75件</td> </tr> <tr> <td>帝王切開</td> <td>46件</td> <td>44件</td> <td>42件</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>223件</td> <td>231件</td> <td>217件</td> </tr> </tbody> </table>			平成22年度	平成23年度	平成24年度	小児医療	外来延患者数	16,128人	17,152人	17,071人	入院延患者数	1,237人	1,650人	1,712人	外来・入院収益	130,557千円	148,557千円	146,195千円	産科医療	外来延患者数	8,053人	7,439人	7,261人	入院延患者数	3,280人	3,491人	3,885人	外来・入院収益	152,302千円	161,893千円	168,752千円	正常分娩	121件	110件	100件	異常分娩	56件	77件	75件	帝王切開	46件	44件	42件	計		223件	231件	217件	<p>地方の医療機関で医師不足が深刻化する中、小児科医2名、産科医2名を維持しながら地域医療を担っている状況にある。(平成25年4月より小児科は3名体制となった。)</p> <p>小児医療については、休日の小児医療の確保の他、嶺南地域の小児療育医療に取り組んでおり、平成24年度に小児療育施設が完成した。</p> <p>産科医療では、地域の妊産婦が安心して分娩できるよう医療体制を維持していく。</p>	○	◎
		平成22年度	平成23年度	平成24年度																																																
小児医療	外来延患者数	16,128人	17,152人	17,071人																																																
	入院延患者数	1,237人	1,650人	1,712人																																																
	外来・入院収益	130,557千円	148,557千円	146,195千円																																																
産科医療	外来延患者数	8,053人	7,439人	7,261人																																																
	入院延患者数	3,280人	3,491人	3,885人																																																
	外来・入院収益	152,302千円	161,893千円	168,752千円																																																
	正常分娩	121件	110件	100件																																																
	異常分娩	56件	77件	75件																																																
	帝王切開	46件	44件	42件																																																
計		223件	231件	217件																																																

役割と計画	実績	進捗の判断	自己評価	委員会評価																																															
⑥ 研修機能の充実	<p>①研修環境整備として医師、看護師向け各種医療用シミュレーターを平成22年度に購入し、研修に利用している。</p> <p>②TV会議システムを導入し、福井大学病院、福井県立病院など福井県内の7病院を回線で繋ぎ、双方向通信により他病院との会議・勉強会の開催や講演会などの受講が、当院に居ながら可能になり、継続的に利用している。</p> <p>③研修医については、平成24年度も引き続きフルマッチであり、研修修了者2名が後期研修に残った。</p> <p>④医師の国内研修制度を整備し、研修を推奨している。</p> <p style="text-align: right;">(単位：人)</p> <table border="1" data-bbox="499 475 1227 903"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">学会出席</td> <td>医師</td> <td>156</td> <td>228</td> <td>246</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>162</td> <td>97</td> <td>154</td> </tr> <tr> <td>医療技術員</td> <td>57</td> <td>75</td> <td>139</td> </tr> <tr> <td>事務、他</td> <td>124</td> <td>72</td> <td>81</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>499</td> <td>472</td> <td>620</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">臨床研修医</td> <td>病院単独</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>たすきがけ医科</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>〃 歯科</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>救急救命士研修</td> <td>14</td> <td>12</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table>			平成22年度	平成23年度	平成24年度	学会出席	医師	156	228	246	看護師	162	97	154	医療技術員	57	75	139	事務、他	124	72	81	計	499	472	620	臨床研修医	病院単独	5	7	7	たすきがけ医科	2	1	1	〃 歯科	0	1	0	計	7	9	8	救急救命士研修	14	12	16	<p>①新人はもとより職場復帰者の研修においても、より安全に技術の向上が図れる体制が整った。</p> <p>②地域性の問題を解消し医療知識の向上が図れるようになった。現在は毎週金曜日に福井大学の研修医・医療従事者向けコアレクチャーなどを受講している。</p> <p>③今後も研修医の指導を充実させ、研修医を確保・定着を図るとともに嶺南医療振興財団の奨学生を確保する。</p> <p>④医師の技術習得・他病院での研修に対する支援制度確立を図った。</p> <p>⑤看護師については、昨年度に引き続き認定看護師の(集中ケア)研修に1名、助産師の資格取得に1名が長期研修に参加した。平成25年度においても、専任教員研修1名、認定看護師の長期研修を予定しており、今後も看護師の研修制度を推進していく。</p>	○	○
		平成22年度	平成23年度	平成24年度																																															
学会出席	医師	156	228	246																																															
	看護師	162	97	154																																															
	医療技術員	57	75	139																																															
	事務、他	124	72	81																																															
	計	499	472	620																																															
臨床研修医	病院単独	5	7	7																																															
	たすきがけ医科	2	1	1																																															
	〃 歯科	0	1	0																																															
	計	7	9	8																																															
救急救命士研修	14	12	16																																																
⑦ 看護師の養成・確保	<p style="text-align: right;">(単位：人)</p> <table border="1" data-bbox="499 978 1227 1249"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">看護師</td> <td>新採用</td> <td>21</td> <td>19</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>退職</td> <td>13</td> <td>16</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>8</td> <td>3</td> <td>-6</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">看護学生</td> <td>入学生</td> <td>33</td> <td>37</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>卒業生</td> <td>22</td> <td>20</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>小浜病院組合就職者</td> <td>14</td> <td>6</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">(小浜病院10名、レイクヒルズ2名)</p>			平成22年度	平成23年度	平成24年度	看護師	新採用	21	19	17	退職	13	16	23	増減	8	3	-6	看護学生	入学生	33	37	32	卒業生	22	20	32	小浜病院組合就職者	14	6	12	<p>①看護師の確保については、7：1看護体制を維持するための人数確保に努力している。引き続き、若狭高卒の卒業生を確保するとともに、他の看護学校・看護大学の新卒者や潜在看護師の確保を図る。潜在看護師の掘り起こしの為、看護師募集の新開折り返しを行った。</p> <p>②看護師確保の為、修学資金を月5万円に増額するとともに、看護大学進学者等への奨学金制度を平成25年度より施行する。</p> <p>③看護師の養成については、8年連続で国家試験合格率が100%の実績を残せた。今後も、学生の獲得を図る。</p>	△	△																
		平成22年度	平成23年度	平成24年度																																															
看護師	新採用	21	19	17																																															
	退職	13	16	23																																															
	増減	8	3	-6																																															
看護学生	入学生	33	37	32																																															
	卒業生	22	20	32																																															
	小浜病院組合就職者	14	6	12																																															

役割と計画	実 績				進捗の判断	自己評価	委員会評価																				
⑧ 地域医療機関との連携の推進	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="499 288 696 323"></th> <th data-bbox="701 288 875 323">平成22年度</th> <th data-bbox="880 288 1055 323">平成23年度</th> <th data-bbox="1059 288 1227 323">平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="499 327 696 362">紹介患者数</td> <td data-bbox="701 327 875 362">3,327人</td> <td data-bbox="880 327 1055 362">3,597人</td> <td data-bbox="1059 327 1227 362">3,779人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="499 365 696 400">逆紹介患者数</td> <td data-bbox="701 365 875 400">2,483人</td> <td data-bbox="880 365 1055 400">2,258人</td> <td data-bbox="1059 365 1227 400">2,355人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="499 403 696 438">紹介率</td> <td data-bbox="701 403 875 438">22.4%</td> <td data-bbox="880 403 1055 438">25.8%</td> <td data-bbox="1059 403 1227 438">26.3%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="499 442 696 477">逆紹介率</td> <td data-bbox="701 442 875 477">20.7%</td> <td data-bbox="880 442 1055 477">19.7%</td> <td data-bbox="1059 442 1227 477">20.7%</td> </tr> </tbody> </table>					平成22年度	平成23年度	平成24年度	紹介患者数	3,327人	3,597人	3,779人	逆紹介患者数	2,483人	2,258人	2,355人	紹介率	22.4%	25.8%	26.3%	逆紹介率	20.7%	19.7%	20.7%	<p>内科、整形外科を紹介制にした影響もあり、紹介率・逆紹介率ともに微増となった。</p> <p>地域の医療機関との連携について連絡・協議を行う体制作りに取り組み、紹介率、逆紹介率の向上、高額医療機器・病床の共同利用等、地域の基幹病院としての機能の向上に取り組んでいきたい。</p>	△	△
		平成22年度	平成23年度	平成24年度																							
	紹介患者数	3,327人	3,597人	3,779人																							
	逆紹介患者数	2,483人	2,258人	2,355人																							
	紹介率	22.4%	25.8%	26.3%																							
逆紹介率	20.7%	19.7%	20.7%																								

経費削減・抑制対策	実 績				進捗の判断	自己評価	委員会評価																																								
<p>① 給与費の抑制</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務委託・機械化することにより、給与費の抑制を図る。 医師・看護師を除く職種については、原則として増員しない。 	<p>(人数は4月1日付)</p> <table border="1" data-bbox="499 288 1227 600"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">職員数</td> <td>医 師</td> <td>43 (7) 人</td> <td>43 (8) 人</td> <td>42 (13) 人</td> </tr> <tr> <td>看 護 師</td> <td>230 (68) 人</td> <td>241 (74) 人</td> <td>240 (78) 人</td> </tr> <tr> <td>医 療 技 術 員</td> <td>70 (4) 人</td> <td>68 (5) 人</td> <td>69 (5) 人</td> </tr> <tr> <td>事 務 ・ 他</td> <td>97 (25) 人</td> <td>95 (31) 人</td> <td>95 (35) 人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>440 (104) 人</td> <td>447 (118) 人</td> <td>446 (131) 人</td> </tr> <tr> <td>給 与 費</td> <td>3,252,216千円</td> <td>3,386,602千円</td> <td>3,376,122千円</td> </tr> <tr> <td>対医業収益比 (%)</td> <td>54.0%</td> <td>54.3%</td> <td>53.1%</td> </tr> </tbody> </table>						平成22年度	平成23年度	平成24年度	職員数	医 師	43 (7) 人	43 (8) 人	42 (13) 人	看 護 師	230 (68) 人	241 (74) 人	240 (78) 人	医 療 技 術 員	70 (4) 人	68 (5) 人	69 (5) 人	事 務 ・ 他	97 (25) 人	95 (31) 人	95 (35) 人	計	440 (104) 人	447 (118) 人	446 (131) 人	給 与 費	3,252,216千円	3,386,602千円	3,376,122千円	対医業収益比 (%)	54.0%	54.3%	53.1%	<p>①職員数は主として医師、看護師の増員による、患者数の確保、単価の増を図っている。医療技術員については、平成24年度に女性診療放射線技師を採用し、女性に対する配慮を図った。</p> <p>②給与費は主に事務職員の減により、対医療収益比で減少した。</p> <p>③業務委託の拡大は、職員の退職の状況等を考慮しながら引き続き検討する。</p>	○	○						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度																																											
職員数	医 師	43 (7) 人	43 (8) 人	42 (13) 人																																											
	看 護 師	230 (68) 人	241 (74) 人	240 (78) 人																																											
	医 療 技 術 員	70 (4) 人	68 (5) 人	69 (5) 人																																											
	事 務 ・ 他	97 (25) 人	95 (31) 人	95 (35) 人																																											
	計	440 (104) 人	447 (118) 人	446 (131) 人																																											
給 与 費	3,252,216千円	3,386,602千円	3,376,122千円																																												
対医業収益比 (%)	54.0%	54.3%	53.1%																																												
<p>② 経費の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> 診療材料の購入は「診療材料検討委員会」で充分審議し、安価な材料に変更可能なものは変更する。また、物品の一括管理 (SPD) の実施により診療材料等を定数管理しているが使用状況の確認を一層強化し、実績の2%削減を目指す。薬品費の削減を図る。 	<table border="1" data-bbox="499 715 1227 1026"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬 品 費</td> <td></td> <td>643,067千円</td> <td>644,914千円</td> <td>672,921千円</td> </tr> <tr> <td>対医業収益比 (%)</td> <td></td> <td>10.7%</td> <td>10.7%</td> <td>10.8%</td> </tr> <tr> <td>診 療 材 料 費</td> <td></td> <td>539,696千円</td> <td>512,801千円</td> <td>498,819千円</td> </tr> <tr> <td>対医業収益比 (%)</td> <td></td> <td>9.0%</td> <td>8.5%</td> <td>8.0%</td> </tr> <tr> <td>経 費</td> <td></td> <td>740,554千円</td> <td>722,864千円</td> <td>785,347千円</td> </tr> <tr> <td>対医業収益比 (%)</td> <td></td> <td>12.3%</td> <td>11.9%</td> <td>12.7%</td> </tr> <tr> <td>う ち 委 託 費</td> <td></td> <td>388,408千円</td> <td>385,090千円</td> <td>421,501千円</td> </tr> </tbody> </table>						平成22年度	平成23年度	平成24年度	薬 品 費		643,067千円	644,914千円	672,921千円	対医業収益比 (%)		10.7%	10.7%	10.8%	診 療 材 料 費		539,696千円	512,801千円	498,819千円	対医業収益比 (%)		9.0%	8.5%	8.0%	経 費		740,554千円	722,864千円	785,347千円	対医業収益比 (%)		12.3%	11.9%	12.7%	う ち 委 託 費		388,408千円	385,090千円	421,501千円	<p>①薬品費削減を図るため後発品の使用を拡大している。入院収益の増に比較し、薬品費の伸びは少ない。</p> <p>②診療材料費削減を図るため、同等品で安価なものへ切替を行なうと伴に、CT・MRI撮影時のフィルムレス化、ベンチマークソフトの活用で価格交渉をおこない、対医業収益比で0.5%改善できた。</p> <p>③経費については、修繕費等が増加傾向にあるが、業者交渉による削減を行っている。委託費については、職員採用を抑え派遣等への切替の他、検査委託、画像診断委託等の業務量の増により、委託費が増加傾向にある。</p>	△	△
		平成22年度	平成23年度	平成24年度																																											
薬 品 費		643,067千円	644,914千円	672,921千円																																											
対医業収益比 (%)		10.7%	10.7%	10.8%																																											
診 療 材 料 費		539,696千円	512,801千円	498,819千円																																											
対医業収益比 (%)		9.0%	8.5%	8.0%																																											
経 費		740,554千円	722,864千円	785,347千円																																											
対医業収益比 (%)		12.3%	11.9%	12.7%																																											
う ち 委 託 費		388,408千円	385,090千円	421,501千円																																											

収入増加・確保対策	実績	進捗の判断	自己評価	委員会評価																
① 急性期病院として平均在院日数の短縮に努め、効率的な病床運営を行い病床利用率を高める。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病床利用率(全体)</td> <td>77.6%</td> <td>82.5%</td> <td>84.3%</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数(一般)</td> <td>16日</td> <td>16日</td> <td>16日</td> </tr> </tbody> </table>		平成22年度	平成23年度	平成24年度	病床利用率(全体)	77.6%	82.5%	84.3%	平均在院日数(一般)	16日	16日	16日	救総科での1泊入院、クリニカルパス等の活用により、平均在院日数は低く推移している。病床利用率も、平成23年度82.5%から平成24年度84.3%と向上している。今後の計画として、DPCの分析による単価増、病床利用率の向上により入院収入の増加を図りたい。	◎	◎				
	平成22年度	平成23年度	平成24年度																	
病床利用率(全体)	77.6%	82.5%	84.3%																	
平均在院日数(一般)	16日	16日	16日																	
② 亜急性期病床を8床増床し、入院収益の増収を図る。(年間 21,900千円)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>亜急性期病床</td> <td>20床</td> <td>20床</td> <td>20床</td> </tr> <tr> <td>1日平均患者数</td> <td>18.1人</td> <td>18.3人</td> <td>18.1人</td> </tr> <tr> <td>病床利用率</td> <td>90.4%</td> <td>91.3%</td> <td>90.4%</td> </tr> </tbody> </table>		平成22年度	平成23年度	平成24年度	亜急性期病床	20床	20床	20床	1日平均患者数	18.1人	18.3人	18.1人	病床利用率	90.4%	91.3%	90.4%	亜急性期病床の増床については、診療報酬制度並びに一般、療養等の病床の運営状況と、患者の病態等の状況を踏まえ検討していく。	○	○
	平成22年度	平成23年度	平成24年度																	
亜急性期病床	20床	20床	20床																	
1日平均患者数	18.1人	18.3人	18.1人																	
病床利用率	90.4%	91.3%	90.4%																	
③ 初診時特定療養費や文書料等の見直しを図る。	平成23年12月より、初診時特定療養費・一部診断書料金について県内の病院料金を考慮し増額改定した。	平成22年度と比較し、平成24年度の手数料収益は11,924千円の増収となった。	○	○																
④ 診療報酬制度に的確に対応するため、研修等を実施する。	(平成24年度診療報酬関係研修会参加状況) 診療情報管理士専門課程 2名参加 診療情報管理士基礎課程 2名参加 DPC分析セミナー 2名参加 第38回診療録情報管理懇話会 4名参加 第38回北陸診療情報管理研修会 1名参加 県ICDコーディング勉強会 4名参加 医療マネジメントセミナー 1名参加 診療報酬管理研修会 1名参加 診療報酬改定実施後の経営改善セミナー 1名参加 診療報酬改定説明 2回(所属長会議)	医師をはじめ、看護師、医療技術員に対しても、診療報酬改定の院内講習会を実施した。更に事務部において研修、情報収集、分析を行い各職種に対し問題提起すると同時に、適切なコーディング等によりDPCを有効に活用し収益増を目指す。その為、診療情報管理士の取得育成のために研修派遣をおこなっている。	○	○																

収入増加・確保対策	実 績	進捗の判断	自己評価	委員会評価																				
⑤ 良質な医療の提供と収益性の向上を図るため、急性期入院医療における診断群分類別包括評価（DPC）準備病院に平成20年度申請した。	（平成22年度） 平成22年7月よりDPC請求開始。 （平成23年度） 職員2名が診療情報管理士の基礎課程を受講。 （平成24年度） 診療情報管理士基礎課程を2名受講。 診療情報管理士専門課程を2名受講。 診療情報管理士試験に2名合格となった。	診療情報管理士を新たに2名養成した。今後も引き続き診療情報管理士養成に取り組み、DPCを有効に活用する。 （平成25年度） 診療情報管理士基礎課程を4名受講中。 診療情報管理士専門課程を2名受講中。	○	○																				
⑥ 地域医療支援病院の承認が得られることにより、入院収益の増収が見込めることから承認申請に向け検討を開始した。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;"></th> <th style="width: 20%;">平成22年度</th> <th style="width: 20%;">平成23年度</th> <th style="width: 20%;">平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介患者数</td> <td style="text-align: center;">3,327人</td> <td style="text-align: center;">3,597人</td> <td style="text-align: center;">3,779人</td> </tr> <tr> <td>逆紹介患者数</td> <td style="text-align: center;">2,483人</td> <td style="text-align: center;">2,258人</td> <td style="text-align: center;">2,355人</td> </tr> <tr> <td>紹介率</td> <td style="text-align: center;">22.4%</td> <td style="text-align: center;">25.8%</td> <td style="text-align: center;">26.3%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td style="text-align: center;">20.7%</td> <td style="text-align: center;">19.7%</td> <td style="text-align: center;">20.7%</td> </tr> </tbody> </table>		平成22年度	平成23年度	平成24年度	紹介患者数	3,327人	3,597人	3,779人	逆紹介患者数	2,483人	2,258人	2,355人	紹介率	22.4%	25.8%	26.3%	逆紹介率	20.7%	19.7%	20.7%	内科、整形外科を紹介制にした影響もあり、紹介率・逆紹介率を上げる努力の結果、紹介率・逆紹介率ともに微増した。 地域の医療機関との連携について連絡・協議を行う体制作りに取り組み、紹介率、逆紹介率の向上、高額医療機器・病床の共同利用等、地域の基幹病院としての機能の向上に取り組んでいきたい。	△	△
	平成22年度	平成23年度	平成24年度																					
紹介患者数	3,327人	3,597人	3,779人																					
逆紹介患者数	2,483人	2,258人	2,355人																					
紹介率	22.4%	25.8%	26.3%																					
逆紹介率	20.7%	19.7%	20.7%																					

杉田玄白記念公立小浜病院評価委員会 委員名簿

区分	氏名	所属団体・役職等
委員長	白髪 昌世	広島国際大学医療経営学部医療経営学科教授
委員	中塚 安治	元小浜市副市長
委員	吉井 正雄	小浜医師会 会長
委員	仲野 郁夫	小浜市民生部長
委員	宮脇 美恵子	福井県連合婦人会 副会長

杉田玄白記念公立小浜病院評価委員会 開催日

平成25年9月24日（火） 午後6時より 杉田玄白記念公立小浜病院 9階会議室

小浜病院の役割と今後の目標に関する資料

1) 初期治療から高度特殊医療まで総合的に提供できる救急医療の提供

(単位:人)

		平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
1日平均 患者数	外 来	775.5	758.8	776.9
	入 院	349.4	371.5	379.3
1日平均 救急患者	外 来	27.4	29.4	29.6
	入 院	6.8	8.0	7.4
1日平均 救急患者	時間外	26.5	27.7	27.7
	救急車	5.2	5.5	5.3

救命救急センター 市町別取扱い患者数

(単位:人)

		平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
小浜市		8,173	9,099	9,433
若狭町	旧上中町	1,238	1,278	1,374
	旧三方町	358	374	462
おおい町	旧名田庄村	450	580	560
	旧大飯町	596	620	617
美浜町		41	56	39
高浜町		545	664	622
その他(県内外)		1,099	1,026	880
合計		12,500	13,697	13,987

若狭地域における救急車搬送状況について

平成22年度

(単位:人)

搬送先	死亡	重症	中等症	軽症	合計
若狭消防組合管内 ①	29	463	632	979	2,103
うち小浜病院	18	376	536	876	1,806
若狭消防組合管外 ②	0	69	34	15	118
舞鶴共済病院	0	43	18	11	72
舞鶴医療センター	0	9	11	4	24
舞鶴赤十字病院	0	0	1	0	1
舞鶴市民病院	0	0	0	0	0
①+②	29	532	666	994	2,221

平成23年度

(単位:人)

搬送先	死亡	重症	中等症	軽症	合計
若狭消防組合管内 ①	25	557	654	961	2,197
うち小浜病院	17	466	578	860	1,921
若狭消防組合管外 ②	0	71	33	24	128
舞鶴共済病院	0	32	17	17	66
舞鶴医療センター	0	14	8	7	29
舞鶴赤十字病院	0	1	0	1	2
舞鶴市民病院	0	0	0	0	0
①+②	25	628	687	985	2,325

平成24年度

(単位:人)

搬送先	死亡	重症	中等症	軽症	合計
若狭消防組合管内 ①	40	515	711	849	2,115
うち小浜病院	25	429	614	766	1,834
若狭消防組合管外 ②	0	69	19	22	110
舞鶴共済病院	0	34	8	16	58
舞鶴医療センター	0	10	7	5	22
舞鶴赤十字病院	0	1	0	0	1
舞鶴市民病院	0	0	0	0	0
①+②	40	584	730	871	2,225

2) 生活習慣病に適切に対応する医療の提供

(単位:人)

	平成22年度		平成23年度		平成24年度	
	受診者	要医療指摘者数	受診者	要医療指摘者数	受診者	要医療指摘者数
人間ドック	704	525	705	512	723	447
PET健診	30	11	22	6	40	15
脳ドック	85	28	68	25	62	13
人間ドック+脳ドック	39	19	67	49	46	38
人間ドック+PET健診	4	2	4	3	3	2
特定健診	72	14	63	7	81	9
婦人科癌検診	21	5	21	3	-	-
協会けんぽ	-	-	-	-	124	74
市町村個別がん検診	-	-	-	-	48	-
受診者数合計	955	604	950	605	1,127	598
健診収入	49,098,661円		49,146,087円		51,817,738円	

3) 地域災害医療センターとしての医療機能の提供

「評価シート記載の通り」

4) へき地医療拠点病院としての機能の提供

(単位:人)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
巡回診療日数	168	168	168
1回平均患者数	7.5	6.5	6.3

年度別へき地診療実人数調

(単位:人)

年度	堅海	上根来 (上根来・下根来)	宮川	音海	日引	上瀬	奥杉山	河内	西浦 (常神・神子)	合計
	延人数	延人数	延人数	延人数	延人数	延人数	延人数	延人数	延人数	延人数
19	381	233	122	146	30	56	33	40	604	1,645
20	407	211	140	120	30	50	36	46	598	1,638
21	393	222	114	102	24	45	26	38	395	1,359
22	357	200	94	91	24	41	35	45	378	1,265
23	253	167	91	58	14	32	48	42	388	1,093
24	239	139	62	47	23	25	62	43	417	1,057

5) 小児医療・産科医療の確保

(単位:人)

			平成22年度	平成23年度	平成24年度
1日平均 患者数	小 児	外来	66.4	70.6	70.0
		入院	3.4	4.5	4.7
	産 科	外来	33.1	30.6	29.8
		入院	8.9	9.5	10.6
分娩件数	正 常		121	110	100
	異 常		56	77	75
	帝王切開		46	44	42
	計		223	231	217
分娩収入(自費非課税分)			85,336,020円	89,563,135円	85,573,580円

6) 研修機能の充実

学会・研修会等への出席

(単位:人)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
医 師	156	228	246
看 護 師	162	97	154
医療技術員	57	75	139
事 務 職 他	124	72	81

臨床研修医の状況

(単位:人)

		平成22年度	平成23年度	平成24年度
病 院 単 独		5	7	7
大学との たすき掛	医科	2	1	1
	歯科	0	1	0
合 計		7	9	8

救急救命士の研修状況

(単位:人)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
救急救命士の研修	14	12	16

7) 看護師の養成・確保

(単位:人)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
養成所入学者	33	37	32
卒業 者	小浜病院組合	6	12
	その他	14	20
	計	22	32
看護 師	新採用者	19	17
	退職者	16	23
	増減	8	3

8) 地域医療機関との連携の推進

平成24年度 医療機関別

紹介患者件数

にしお内科クリニック	299
田中整形外科医院	298
小津外科医院	252
名田庄診療所	247
上中病院	192
舞鶴共済病院	182
千葉医院	156
高浜病院	152
山手医院	118
堀口医院	96
西津診療所	89
なごみ診療所	85
福井大学医学部附属病院	82
嶺南病院	72
歯科大下医院	72
吉井医院	68
いちせクリニック	68
レイクヒルズ美方病院	65
村上眼科医院	62
京都大学医学部附属病院	56
田中病院	55
中名田診療所	53
敦賀温泉病院	45
国立福井病院	34
和田診療所	33
市立敦賀病院	32
舞鶴医療センター	29
福井済生会病院	26
まつき歯科医院	25
関根医院	23
大下第3歯科医院	22
中山クリニック	21
歯科三宅医院	20
小計	3,129
その他(19件未満)	650
総計	3,779

逆紹介患者件数

舞鶴共済病院	157
福井大学医学部附属病院	130
京都大学医学部附属病院	112
上中病院	108
にしお内科クリニック	108
名田庄診療所	102
千葉医院	87
小津外科医院	86
なごみ診療所	68
田中病院	62
山手医院	61
高浜病院	56
レイクヒルズ美方病院	55
吉井医院	52
西津診療所	43
田中整形外科医院	40
福井済生会病院	36
中名田診療所	34
嶺南病院	30
村上眼科医院	28
市立敦賀病院	28
福井県立病院	27
敦賀温泉病院	22
堀口医院	20
小計	1,552
その他(19件未満)	803
総計	2,355